

新年度活動開始!!

新年度を迎え、小中学生の体験活動「無名塾」、高齢者の学びの場「リロナイふれあい学園」、各スポーツ少年団などが、活動を開始しました。



木古内無名塾

小学3年生から6年生までの19名と、ジュニアリーダーの中学生3名が参加し、木古内無名塾の開塾式が4月13日(土)に行われました。

開塾式では、木古内小学校長石岡一智氏、木古内中学校長信田博之氏から励ましのお言葉をいただき、活動を開始しました。

最初の活動は「木古内博士」を目指して、佐女川神社宮司野村広章氏から「みそぎ祭」についての講話をいただき、実際に行修者が行列をするルートで町歩きを行い、観光協会のご協力によりみそぎ浜で「水ごり」を体験しました。

塾生達は木古内町が誇る伝統行事に触れ充実した1日を過ごすことができました。

次回は福島町でクルージングを体験します。

スポーツ少年団結団式

4月8日(月)、木古内町スポーツ少年団本部結団式が行われました。

木古内スポーツ少年団本部長やご来賓から激励の言葉が贈られ、各少年団の代表が今年度の目標や意気込みを表明し、決意を新たに練習に打ち込むことを宣言しました。



リロナイふれあい学園

4月11日(木)に平成31年度リロナイふれあい学園の始業式が行われ、学園のスローガンである「ちょっぴりかしこく おおいにたのしく ますますすこやかに」を目指して、一人ひとりが1年間の抱負を発表し活動が開始されました。

午後からは、北海道新聞社木古内支局長中原洋之輔氏を講師にお迎えし、「新聞記者の仕事」をテーマに「ニュースに必要な要素は」などについてユーモアを交えご講話をいただきました。

5月23日(木)、6月6日(木)は釜谷ゆうなぎ館を会場に書道、ペーパークラフトなどに取り組む予定です。

北海道文学館出前講座

「詩人 よしだ いっすい 吉田一穂入門」

6月6日(木) 13:30～
釜谷ゆうなぎ館

現代詩を確立した「極北の詩人」といわれる木古内町釜谷生まれの詩人『吉田一穂』。

北海道文学館理事長平原一良氏が吉田一穂の詩の世界感や生い立ちを解説します。

どなたでも入場できます。

送迎の必要な方はお申し出ください。

■生涯学習課社会教育グループ

☎01392-2-2224